

整備内容及び利用状況

視点場



施工後



視点場からの眺望



施工後



視点場からの眺望

駐車場整備



施工後

利用状況

(利用者の声)

■ 駐車スペースがあるおかげでゆっくり景色を楽しめます。

管理状況

・機械整備の施設はありませんが、ビューポイント等で整備する案内看板、防護柵等の補修・更新は、道路管理者で行い、清掃等は地元（村）で実施しています。

関係機関

- 福島県 猪苗代土木事務所 業務課
- 福島県 会津地方振興局 県民生活課
- 福島県喜多方建設事務所 企画調査課
- 北塩原村 総務企画課
- 磐梯町 政策課
- 猪苗代町 企画財務課
- 裏磐梯エコツーリズム協会
- 裏磐梯観光協会

- TEL : 0242-62-3102
- TEL : 0242-29-5295
- TEL : 0241-24-5707
- TEL : 0241-23-3112
- TEL : 0241-74-1211
- TEL : 0241-62-2112
- TEL : 0241-32-2008
- TEL : 0241-32-2349 他

裏磐梯のさらなる魅力向上による
誘客力のアップ

喜多方-4

磐梯山周辺地区

北塩原村、猪苗代町、磐梯町

喜多方建設事務所
計画期間：H16～H22/H24～H26

地域づくりの方針

地域づくりの手段として、休憩スペースの整備等により増加した観光交通への対応を図ることが重要であると考え、平成20年まで整備を進めてきました。平成21年度は、北塩原村や裏磐梯・スポーツパーク検原湖管理組合との連携を図りながら、裏磐梯のスポーツ合宿利用者の利便性向上を図ります。

主な事業内容

- ・裏磐梯のうつくしい景観美を来訪者に提供するため**視点場**を整備しました。
- ・裏磐梯の玄関口の景観を改善するため、**無電柱化**を行いました。
- ・地元が描く「合宿の郷構想」を支援する**歩行空間整備**を実施しています。



事業概要図



位置図



磐梯山周辺地区

(主)会津若松裏磐梯線

(主)米沢猪苗代線

地域の現状

裏磐梯地区は、磐梯山、裏磐梯湖沼群等、豊かな自然に恵まれた地区であり、磐梯山や桧原湖を訪れる人に多くの安らぎを与えてくれ、春夏秋冬において高原の景観を呈しています。
 裏磐梯地区は、年間を通して県内外より観光客が訪れる地域ですが、平成11年には年間約2百50万人訪れた観光客も、最近では2百万人を割り込む数となっています。
 北塩原村では「裏磐梯・スポーツパーク桧原湖」と「蔵王坊平アスリートビレッジ」とのスポーツ合宿誘致に関する事業協力について平成20年5月に協定を締結し、誘致活動を進めています。
 平成25年度に合宿の郷の愛称を「磐梯山チャレンジパーク」に決定しました。

地域づくりのあゆみ

平成16年	<ul style="list-style-type: none"> うつくしい磐梯高原の自然と景観を守る地域ネットワーク会議 土木施設を活用した地域づくり交流促進分科会を開催 猪苗代塩川線に視点場整備
平成17年	<ul style="list-style-type: none"> スカイバレーに視点場を整備 桧原湖周辺に視点場、休憩所を整備
平成18年	<ul style="list-style-type: none"> 桧原湖早稲沢地区に駐車場整備 ヒルクライム大会開催
平成19年	<ul style="list-style-type: none"> 裏磐梯四季散歩マップ作成 無電柱化工事開始～H21 浮き橋整備（北塩原村）
平成20年	<ul style="list-style-type: none"> 裏磐梯地区
平成20年～22年	不明
平成24年～25年	<ul style="list-style-type: none"> 歩行空間整備、合宿の郷計画策定
平成25年	<ul style="list-style-type: none"> 北塩原村で都市再生整備計画事業スタート

地域づくりを進める上での課題

地域自らの手で、自らの考えをみんなが集めて、何かを達成するという経験により、少しずつ地域のモチベーションをあげることで、地元住民主体の活動に力をつけていくことが課題です。
 また、従来型チャンネルにこだわらない情報発信などにも工夫をしていく必要があると思います。

元気づくりの立役者たち

裏磐梯と桧原湖



桧原湖



地域の課題・今後の展望

・紅葉シーズンになると毎年渋滞が発生しています。これが直接的な原因とはいえませんが、年々、入込客が減少傾向にあるため、対応策を検討する必要があります。

(県担当者)

■今後、住民が主体となった地域づくり活動への支援として、まず「地域コミュニケーションの促進」や「地域づくり活動の担い手育成」に向けて、時間をかけて支援していく必要があります。

事業の効果

■山形県上市市と福島県北塩原村のスポーツ合宿誘致に関する事業連携

北塩原村では、「裏磐梯・スポーツパーク桧原湖」と山形県上市市の「蔵王坊平アスリートビレッジ（日本オリンピック委員会認定施設）」とのスポーツ合宿誘致に関する事業協力について、平成20年5月に協定を締結しました。

なお、スポーツパーク桧原湖は美しい桧原湖畔のロードコース32kmでのトレーニングが魅力の施設であり、元気ふくしま地域づくり交流促進事業磐梯山周辺地区においては、平成19年度までロードコース上の沿道景観整備を進めてきたところです。

山形県上市市との事業連携



スポーツ合宿誘致の協定書を持つ横戸上市市長（右）と高橋北塩原村長

桧原湖北岸棧橋整備（北塩原村）



■桧原湖北岸棧橋整備（北塩原村）

北塩原村では、地域内住民が所有する船舶や一般船舶を集約し、桧原湖周辺景観の保全を図ること等を目的として、浮き橋を整備しました。

■検討機関の開催、地域資源の周知

・地区郵便局にて、裏磐梯四季さんぽMAPの写真をを使った記念切手が発売されました。

■観光入込み数

・裏磐梯地域観光入り込み数（北塩原村観光政策課資料より）
 平成16年度2,271千人
 平成17年度2,698千人
 平成18年度2,719千人
 平成19年度2,688千人
 ・會津米沢街道檜原歴史館（連休中）
 平成18年度 101人/4日
 平成20年度 230人/4日

■地域イベントによる交流人口の拡大

・裏磐梯夏祭りが15年ぶりに復活しました。
 ・裏磐梯エコツアーフェスタやエコツーリズムカレッジを開催しました。
 ・ヒルクライムの大会が開催されました。
 ・ウォーキングイベントを開催しました。